



▲宿泊研修(スキー研修)

厚高1年を振り返って(その2)

厚真高校は今年度も、生徒の社会性や人間性、コミュニケーション能力の育成などを目的として、関係機関の皆さまのご協力を得ながら年間を通してさまざまな取り組みを実施してきました。これらの取り組みは、5月に実施した「選挙講話」(これはSTVや各新聞社で報道されました)から始まり、定期的に新聞報道でも取り上げられ、地域の皆さまもご覧になる機会が多かったと思います。来年度も引き続き充実させていきたいと思っています。

きりん組は男の子11人女の子14人、計25人の男の子と女の子の仲が良いクラスです。夏は鬼ごっこで一緒に園庭を走り回り、今は縄跳びや転がしドッジボールで汗を流しながら一緒に遊んでいます。体を動かす遊びが好きな子が多いクラスです。運動会での跳び箱と発表会での鉄棒の発表のために、自由遊びの時間にも目標を持って練習に励み、努力する子どもたちです。本番では跳び箱は、ほとんどの子が5段・6段を跳び、鉄棒では、逆上がりだけでなく、園長先生から教わったコウモリや足抜き回り、地球回りなどを覚えて自分の得意な技を披露することができました。お正月遊びとしてははじめた「いろはかるた」では、ひらがなが苦手なお友だちに読める札を譲ったり、教えたりと子どもたちの思いやりが見られ、みんなで遊びながらことわざも覚えられました。やんちゃで元気な男の子、しっかり者で時には甘えん坊の女の子。これからも今のようになっているお友だちに声をかける優しさ、一人ひとりが「頑張る!」という気持ち、時には「みんなを力合わせて!」という気持ちを大切に、いろいろなことにチャレンジして欲しいな...と思います。



書いてくれたのは... とうがし 藤樫 ゆかり先生

厚真町 地域おこし協力隊



地域おこし協力隊 教育交流活動支援員 おはら 小原えりかさん(32歳)

着任 平成28年7月(1年目) 出身地 神奈川県川崎市 経歴 音大の大学院を卒業後、ピアノ教室で音楽指導、中高等教諭専修免許(音楽)保有

file.08

>最近の活動について

2月22日に総合福祉センターで開催された「第52回厚真町婦人大会」で50分程のピアノソロコンサートを行いました。

「聴いている人全てが楽しめる演奏会」を目指し、懐かしいと感じてもらえるような選曲をしました。「笑点のテーマ」など、耳なじみがいいものから「365歩のマーチ」などのヒット曲、「浜辺の歌」、「四季の歌」などの童謡、「アルプス一万尺」、「ずいずいずっころばし」などの手遊び歌など、幅広いジャンルで全13曲を演奏しました。事前にリクエストがあった「百万本のバラ」と「エリーゼのために」、「情熱大陸のテーマ」の3曲にも挑戦。

また、曲の合間のMCでは曲の解説とトリビアを話

し、会場が盛り上がりました。婦人会以外の方で足を運んでくださった方もいましたようで、ほほ笑みながら聴いてくれました。最後は来場者含め全員で「ふるさと」を合唱し、会場内に美しい歌声が響きわたりました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



初のソロコンサートは大成功

ぼくらの作品紹介 section featuring two children holding calligraphy scrolls. The scrolls read '新たな決意' (New Determination). The first scroll is by 奥井 啓太くん (12歳) and the second is by 高畑 ユウさん (12歳). A cartoon character is also present.

短歌

月の夜に何やら動くシルエット鹿の家族か小さきもいる (浜厚真 山田 志津) ひさかたの後期高令同窓会記念写真は嘘をいわない (本郷 武田 弘子)

雪まじりバケツを側に入浴も五右衛門風呂で遠き日のこと (本郷 飛谷 富夫)

あつま芸友の会発行「芸友あつま 第二十二号」から抜粋